

神社関係者・社叢インストラクター必聴！！

2023年9月

NPO 法人社叢学会第91回関西定例研究会ご案内

第91回関西定例研究会を下記のとおり開催いたします。特に今回は、社叢に関わる神社関係者や社叢インストラクターの方にご参加いただきたく存じます。

OECMとは、Other Effective area-based Conservation Measuresの頭文字をとったもので、国立公園などの保護地区ではない地域のうち、本来の目的に関わらず、生物多様性の保全に効果的に貢献しうる地域のことを言います。社寺林や里地里山はもちろん、施業林や建物の屋上でも、人々の取組みによって地域の生物多様性が守られているところが該当します。

国際約束に従って、日本も2030年までに国土の30%以上を保護地とする30by30の実現を目指し、30by30アライアンスが発足。社叢学会もこのアライアンスに参画し、環境省や神社本庁と共に、OECMのための国内認定制度である「自然共生サイト」認定推進方策を検討しております。こうした中で、社叢インストラクターには、社叢の生物多様性を診断する役割を果たしていただくことも考えております。

今回の研究会では、環境省の担当者から、30by30に関わる最新の動向等についてご紹介いただき、社叢などでの取組み推進に向けた勉強会としたいと思っております。

社叢に関わる神社関係者の皆さま、また社叢インストラクターの皆さまには得難い機会になるかと存じます。ぜひ、ご参加ください。

なお当日は、現在、自然共生サイト認定申請を検討中の都市内復元型ビオトープ「いのちの森」と京都の希少植物をテーマとした「藤袴と秋の和の花展」の見学も予定しています。

ご出席の向きは、9月30日までに下記事務局あて、E-Mail、FAX又は葉書にてお知らせ下さい。

記

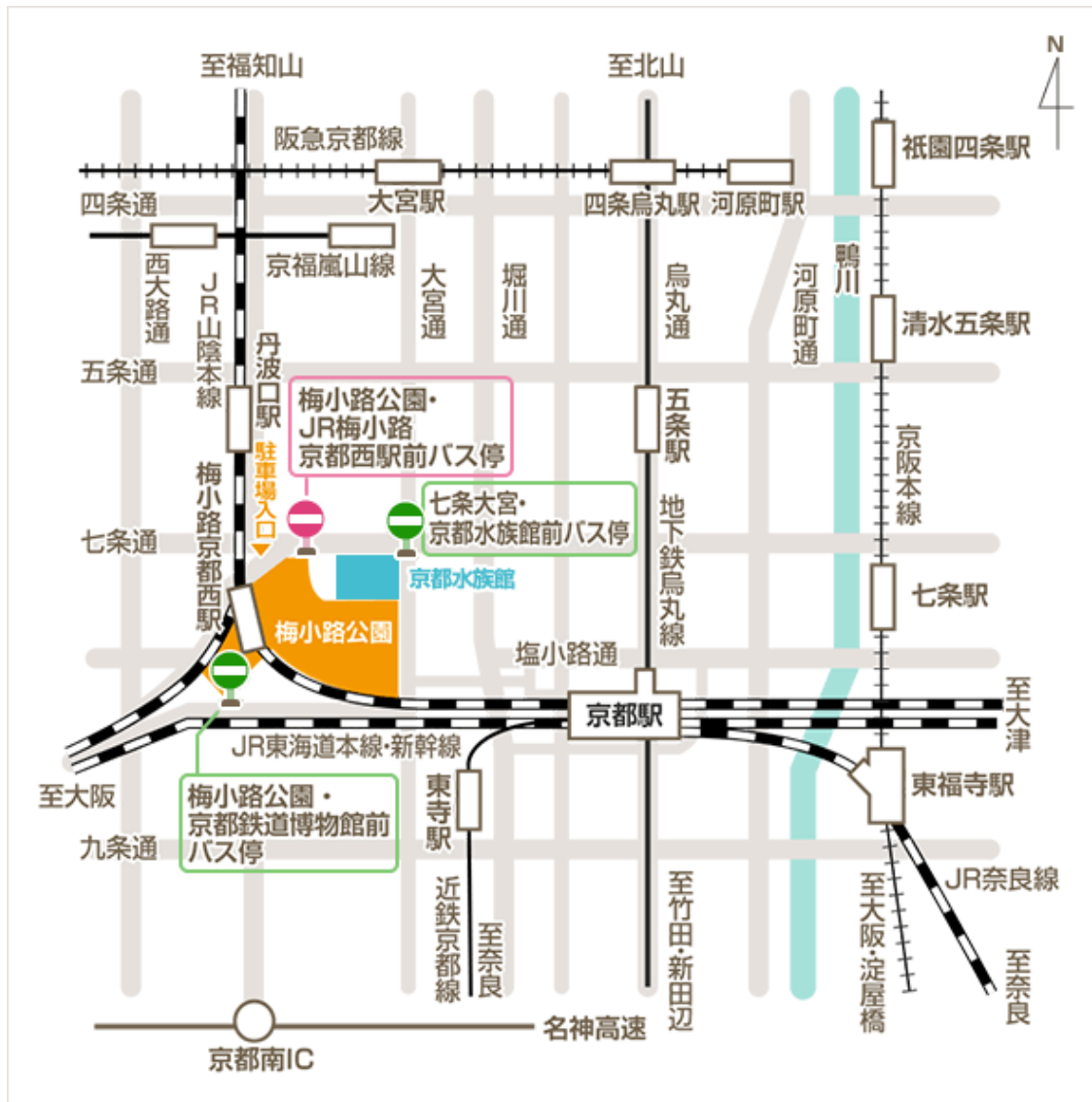
日 時	2023年10月4日(水) 13:30~16:00
テ ー マ	<OECM>30by30と社叢の役割
見 学	「藤袴と秋の和の花展」「いのちの森」(梅小路公園「朱雀の庭」)
講 師	徳丸 久衛(環境省近畿地方環境事務所)
コメンテータ	森本 幸裕(社叢学会副理事長・京都大学名誉教授)
	! 曜日にご注意ください !
会 場	梅小路公園「緑の館」イベント室 (京都市下京区:075-352-2500)
参加費	会員 200円(「朱雀の庭入場料」) 非会員 700円(入場料含む)

連絡先：NPO 法人社叢学会事務局

604-8115 京都市中京区雁金町 373 番地 みよひビル 303 号

FAX 075-212-2916 E-Mail shasou@ams.odn.ne.jp

梅小路公園へのアクセス



電車の場合

- ・ JR 嵯峨野線「梅小路京都西」駅下車すぐ
- ・ 「京都」駅中央口より塩小路通を西へ徒歩約 15 分

市バスをご利用の場合

「七条大宮・京都水族館前」「梅小路公園・京都鉄道博物館前」下車

- ・ 京都駅前（B3 のりば）：205・110・208 系統
- ・ 四条大宮：206・207・18・特 18・71・特 71 系統
- ・ 二条駅前：206・18・特 18 系統
- ・ 七条京阪前：110・208・206 系統